

# プログラム近況報告

World Vision  
Vietnam

2013年度(2012年10月1日~2013年9月30日)

ベトナム社会主義共和国 ムオンチャ地域開発プログラム(VNM-194418)

## 子どもたちの笑顔が地域に広がっています



成長報告の作成会に参加した子どもたち。成長報告の作成は、子どもたちにとっても大きな楽しみの一つです



子どもたちのために様々なイベントが行われました。年齢の小さい子どもへの保健イベントの様子



地域の若者同士が日常生活で困っていることについて話し合い、地域をより良くするため2014年の活動計画を立てています

活動開始から3年目となるムオンチャ地域開発プログラム(以下、ADP)では、子どもたちの健やかな成長を支えるための活動が続けられています。年間を通じ、新年のお祝い会や、成長報告の作成会、誕生日会など、様々なイベントや啓発活動を開催し、中秋節のお祝い会には3,357人の地域の子どもたちが、誕生日会には1,291人の子どもたちが参加しました。これらの活動を通じ、地域の人々が子どもたちの権利を理解し、子どもたちの声が活かされた地域づくりが行われています。

## チャイルド・スポンサーの皆さま

日頃より、チャイルド・スポンサーシップを通して、温かいご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。

2013年度の活動報告として「プログラム近況報告」と、チャイルドの「成長報告」をお届けいたします。昨年度も活動を進めることができましたのは、子どもたちを思い、継続的にご支援をくださる皆さまのおかげと、感謝しております。この1年の地域支援における活動の成果、今後の課題をご確認いただくとともに、チャイルドの成長をとともに喜んでいただけますと幸いです。

皆さまのご支援チャイルド、そしてすべての子どもたちが健やかに成長できる地域となることを目指し、活動を続けてまいります。

皆さまの尊いご協力を、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



特定非営利活動法人  
ワールド・ビジョン・ジャパン  
常務理事・事務局長 片山信彦





## スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

「スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト」では、チャイルドとの手紙の交流や毎年の成長報告などを通して、支援の成果を実感していただくための活動を行っています。そのため、チャイルドの成長を定期的にモニタリングし、支援事業がチャイルドとその家族、さらに地域の人々の生活をどのように改善しているのか確認を行っています。また、チャイルドの家族や地域の人たちが「子どもを中心とした開発」を理解し、その支援活動の中心を担っていくような啓発活動も行っています。

### 【すばらしい贈り物】

ムオンチャに住むスーちゃんは、水汲みや料理、洗濯、そして妹の勉強を見たりと、ワールド・ビジョンが地域で活動を始めるまで、自分のための時間はなかなか取れない生活を送っていました。しかし今では、読み書きのできない両親もワールド・ビジョンの活動に賛同し、イベントなどの活動に喜んで送り出してくれます。

スポンサーシップの活動に参加した感想を次のように話してくれました。「活動に参加して一番嬉しかったことは、私の両親や友だちが私の誕生日会に来てくれたことです。それに、スポンサーの方からの手紙やカードをいただいたり、成長報告のために写真を撮ってもらえることが本当に楽しみです」そう言って、大切に保管しているスポンサーからの手紙を見せてくれました。

父親も活動に参加し、養鶏について学び、鶏と鶏小屋の支援を受けました。その利益で子どもたちの学費を払うことができます。ワールド・ビジョンの様々な活動に参加し、スーちゃんは以前より自信を持って人前で話したり歌ったりできるようになりました。

ムオンチャ地域の子どもたちに笑顔があふれるため、これからも活動を進めてまいります。



スーちゃんとその家族



スポンサーからいただいた手紙は大切に保管しています





## プログラム・マネージャーからのごあいさつ

親愛なるスポンサー様

ムオンチャ地域よりごあいさつ申し上げます。

皆さまの温かいご支援なしには、私たちの活動は実施できません。心よりの感謝を込めて、支援の成果をご報告いたします。深い山奥のムオンチャの地域に変化をもたらすことは決して容易ではありません。時には疲れ、どうしてよいか分からなくなる時もあります。そのような時、ご支援いただいている子どもたちの笑顔や嬉しそう姿に、どれだけ励まされたか分かりません。私たちの活動は、すぐには問題を解決できないことも多くありますが、ご支援くださる皆さまとともに、地域の子どものため、これからも精一杯働きを進めてまいりたいと思います。

あらためて、皆さまのご支援への感謝とともに、皆さまのご家族の健康をお祈りいたします。

トラン パム ヒエン（ムオンチャADPマネージャー）



ムオンチャ地域の少数民族の子どもたちとヒエンマネージャー



## 教育プロジェクト

昨年度に引き続き、ベトナム語を母語としない少数民族の子どもたちに対し、ベトナム語の補習授業を幼稚園と小学校、また中学校で行いました。補習授業は、本校だけでなく遠隔地にある分校でも行われました。その結果、子どもたちの授業への理解が深まり、ベトナム語を母語とする教師や友だちとも自信を持って話せるようになっています。

また、十代の若者に対し、性と生殖やHIV/エイズ、麻薬、若年結婚などの話題について啓発活動を行いました。

そのほか、学校に通っていない貧しい十代の若者に対し、職業訓練を行いました。訓練は、畜産や養鶏などの分野について行われ、約70人が参加しました。そのうち41人がすでに小規模ビジネスを始め、少しずつ収入を得られるようになっています。また、若者たち同士で小グループを作り、仲買人との値段交渉の方法や、家畜の健康管理などの技術向上に努めています。



子どもの権利について学ぶイベントの様子

Q&A方式で子どもの権利について学ぶイベントに小学校の子どもたちが参加しました



養鶏の職業訓練を受けた若い父親と子どもたち





## 子どもの健康プロジェクト

5歳以下の子どもたちの栄養状態改善のため、栄養クラブの活動の充実や幼稚園での「全日保育」の実施、家庭における養鶏の普及に努めました。栄養クラブでは定期的に集まり、地域の母親たちが地元の食材を活用して栄養価の高い食事を作るための学びを行っています。

幼稚園で全日保育を取り入れたことにより、親が終日働けるようになりました。その結果、収入向上につながると同時に、子どもたちが、1日に一度、栄養のバランスのとれた食事をとることができます。地域のニーズを受けて、利用する子どもたちも、昨年度の380人から、今年度は565人となりました。

これらの活動の結果、地域の子どもたちの栄養不良が改善されています。例えば、地域のある幼稚園では栄養不良の園児は、昨年度の29%から20.6%に、低体重の割合は12.5%から11%に減少しています。引き続き、地域の子どもたちの健康状態の向上のため、地域の人々と協力しながら活動を進めてまいります。



栄養クラブの活動に参加する少数民族の子どもとその母親



栄養クラブにて、栄養価の高い食事の作り方を学んでいます

## 人材育成プロジェクト

住民自らが、地域の課題を検討し取り組みを行うため、昨年に引き続き村落開発委員会の能力向上を行いました。その結果、委員会のメンバーが中心となって地域の人々との話し合いを行い、さまざまな小規模プロジェクトが企画・実施されています。その一つとして、これまで雨季には道路が水で溢れ、安全な通学が難しかった道の整備が行われました。住民自らが整備をすることで技術を身につけることができ、完成後は子どもたちが安全に通学できるようになりました。

インフラ整備以外にも、鶏、ヤギ、豚、牛などの繁殖事業も計画されており、地域の貧しい家庭の収入向上を目指し、活動が進められています。



地域の住民が中心となって道路整備を行いました

### 会計報告

#### 収支計算書

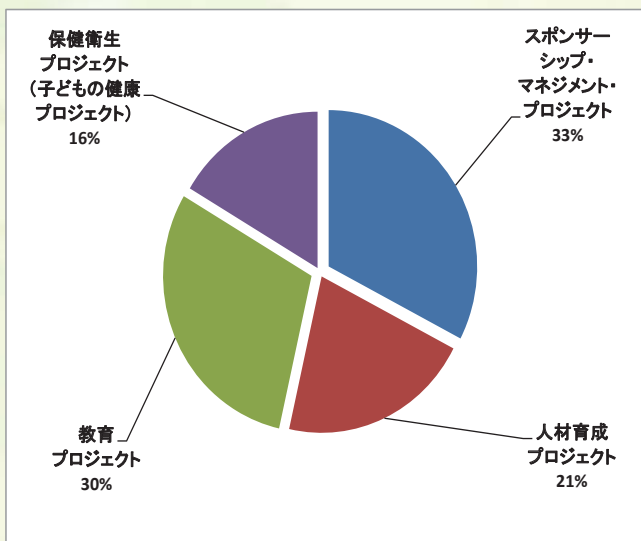
自 2012年10月1日 至 2013年9月30日

プログラム支援額		VNM-194418 (単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ		27,325,541
当期支援額		27,325,541
前期繰越金		3,954,597
プログラム支援額合計		31,280,138

プログラム支出額	
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	9,906,295
人材育成プロジェクト	6,347,068
教育プロジェクト	9,110,659
保健衛生プロジェクト(子どもの健康プロジェクト)	5,007,626

プログラム支出額合計	30,371,648
次期繰越額	908,490

#### 支援分野別内訳 (VNM-194418)





# プログラム近況報告

World Vision  
Vietnam

2013年度(2012年10月1日~2013年9月30日)

ベトナム社会主義共和国 チャンエン地域開発プログラム(VNM-190848)

## 子どもたちが安心して成長できる地域を目指して



参加型学習法を導入し、小グループで楽しく学ぶ子どもたち



栄養バランスのとれた食事の作り方を学ぶ母親たち

子どもたちが安心して成長できる地域を目指した活動が続けられています。保健衛生、教育、生計向上、指導者育成、チャイルド・スポンサーシップの各分野による取り組みの結果、子どもたちにより影響もたらされています。具体的には、地域の子どもの栄養状態が改善しているほか、安全な水や衛生に関する正しい知識が地域の人々に広まっています。そのほか、中秋節のお祝い会などを始めとする様々なイベントでは、子どもの権利に関する啓発も同時に行いました。これらの結果、子どもが健全に成長するために必要な環境についての理解が保護者や教師、地域住民の間で深まっています。また、病気やけが、事故から身を守るための取り組みも行われました。子どもたち自身も、地域に貢献していくための活動に積極的に参加しています。



地域に根差した防災に関する研修が行われました

## チャイルド・スポンサーの皆さま

日頃より、チャイルド・スポンサーシップを通して、温かいご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。

2013年度の活動報告として「プログラム近況報告」と、チャイルドの「成長報告」をお届けいたします。昨年度も活動を進めることができましたのは、子どもたちを思い、継続的にご支援をくださる皆さまのおかげと、感謝しております。この1年の地域支援における活動の成果、今後の課題をご確認いただくとともに、チャイルドの成長をともに喜んでいただけますと幸いに存じます。

皆さまのご支援チャイルド、そしてすべての子どもたちが健やかに成長できる地域となることを目指し、活動を続けてまいります。

皆さまの尊いご協力を、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



特定非営利活動法人  
ワールド・ビジョン・ジャパン  
常務理事・事務局長

片山 信彦



## 指導者育成プロジェクト

今年度も、地域の指導者育成のため、会議の進め方、報告書の書き方、事業運営管理、コミュニケーション力やプレゼンテーション力向上のため、研修を行いました。そのほかにも、子どもの保護と権利、ジェンダーや家庭内暴力の予防についての啓発活動やイベントを開催しました。

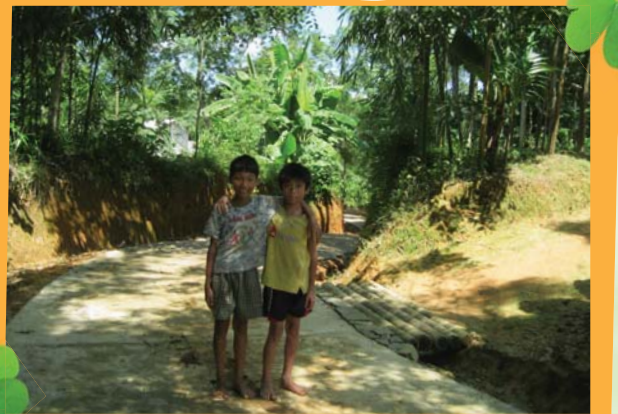
### 【地域の住民が力を合わせて活動に取り組んでいます】

地域住民自身が問題を認識し、その解決のための計画を作成してお互いに協力しながら実行できるようになることを目指し、活動が進められています。

今年度は、2カ村の住民が協議を重ね、道路を舗装するための計画書を作成し、実際の舗装作業を住民たちが協力して行いました。参加した住民の一人、ダオさんは笑顔でその時のことを話してくれました。「近隣の住民と協力して道路舗装を行うのは、とても楽しい経験でした。一人ひとりが本当に力を尽くして働きました」これまで、雨が降ると道がぬかるみ、すべりやすく歩くのが大変でしたが、新たに舗装された道路により、子どもたちが特に雨季に安全に通学できるようになりました。また農産物の運搬も容易になるなど、地域の住民に大きな喜びをもたらしています。



地域住民が協力し、道路の舗装を行いました



新たに舗装された道路により子どもたちも安全に学校に通えるようになりました

## スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

「スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト」では、チャイルドとの手紙の交流や毎年の成長報告などを通して、支援の成果を実感していただくための活動を行っています。そのため、チャイルドの成長を定期的にモニタリングし、支援事業がチャイルドとその家族、さらに地域の人々の生活をどのように改善しているのか確認を行っています。また、チャイルドの家族や地域の人たちが「子どもを中心とした開発」を理解し、その支援活動の中心を担っていくような啓発活動も行っています。

### 【いつか、私もスポンサーになりたい!】

5年生のドゥちゃんは子どもクラブの代表として、2014年度の活動計画を立てる会議で発表を行いました。ドゥちゃんは、子どもたちにとって安全な遊び場の大切さについて、立派に意見を述べました。「私たち子どもにとって夏の川遊びは楽しいものです。でもそれは同時に危険な行為でもあります。私たちには安全な遊び場が必要なのです」

地域の子どもの代表として立派に発表を行ったドゥちゃんについて母親はこのように話します。「ドゥはとても恥ずかしがり、初めての人と会うのが苦手でした。学校の先生からも、もの静かで自分から意見を発することがないと聞いていました。でも今回の発表では、初めての人の前でもしっかりと発表を行うことができ、とても自信がついたようです。参加型学習法での学校の授業や、子どもクラブの活動のおかげです」

ドゥちゃんは子どもクラブでの活動についてこのように話します。「学校や子どもクラブでは、たくさん楽しい活動に参加しています。私は、子どもクラブの運営メンバーとして、様々なイベントの企画もしています。しっかり勉強して、大人になったら、私もスポンサーとして支援ができるようになりたいです」



子どもたちにとって安全な遊び場の大切さについて発表するドゥちゃん



## プログラム・マネージャーからのごあいさつ

親愛なるスポンサー様

チャンエン地域からごあいさつ申し上げます。

2008年から始まったチャンエンADPは、この5年間で3,000人以上の地域の子どもたちとその家族へ様々な支援を届けてまいりました。具体的には、貧しい生徒たちへの学用品の支援をはじめ、学校設備や備品の整備、教員への研修などを通じ、子どもたちの教育環境の改善を行いました。また、地域住民の能力が向上し、計画段階からともに活動を行い、これまでに14の村に新しい道や運動場が整備されています。これらの活動は、皆さまからのご支援により行うことができたものです。

地域の子どもたちとその家族に良い変化がもたらされていることに心よりの感謝を含めて、2013年度の報告書をお送りさせていただきます。引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

ルオン ンゴク クオン (チャンエンADPマネージャー)

## 教育プロジェクト

幼稚園と小学校の教員を対象に、ライフ・スキル\*を効果的に学ぶ授業の方法について、研修を行いました。研修で学んだ教師たちは、学校に戻り実際に学んだことを生かした授業を行っています。教師の一人グエン先生は、学んだことを実際に授業で実践した時の感想を次のように話します。「ライフ・スキルの研修を通して、子どもたちが、自分の存在意義を感じ、将来に希望が持てるような教育内容と環境づくりがとても大切だと学びました。子どもたちにとって学校での経験が彼らの将来に大きな影響を与えるからです。ライフ・スキルの学びを子どもたち自身が楽しんで行っており、以前より落ち着いて勉強ができるようになりました」

\*ライフ・スキル: 子どもたちが問題解決法、コミュニケーション・スキル、対人関係、チームワーク、決断の仕方、計画性など、生きていくうえで必要な知識・技術

## 生計向上プロジェクト

地域の中で特に貧しい住民の生計向上のため、SRI農法と呼ばれる新しい米の栽培方法の研修を行い、農家の収穫高や生産性が向上しました。また、タケノコ、クズウコン、茶、キノコの栽培、養鶏、養豚の技術研修が行われたほか、得られた収入をより適切に管理するため、帳簿の付け方や貯蓄についての研修も行いました。その結果、子どもを持つ1500以上の世帯収入が向上し、食料、衣類、医療費や教育費をまかなえるようになっています。

### 【竹栽培を通じて家計が向上したある家族をご紹介します】

ある日、テン君はびっくりしました。お父さんがテン君のために、新しいサンダルや服そして学用品を買ってきてくれたからです。テン君は言います。「お父さんに、どうしてそんなにたくさん買ったのか聞いたら、今年はタケノコがたくさん採れたからだよと教えてくれたよ」

テン君のお父さんは、タケノコ栽培の研修を受け、栽培に必要な資材の支援を受けました。

地域の貧しい家庭に、たくさんの喜びが生まれています。今後も、安定した収入を得られるように、続けて活動をすすめてまいります。



小学校の子どもたちとルオンマネージャー (前列左)



小学校の授業でライフ・スキルの授業を行う子どもたち



グループワークを通じ、仲間と話し合っ  
て計画を立て、実際にできあがった計画につ  
いてほかのグループに発表しました



収入向上のため養豚の支援を行いました



タケノコ栽培の技術を学び、家計の収入が向上  
しています





## 保健衛生プロジェクト

子どもたちの健康改善のため、地域の保健ボランティアや村落保健員、郡政府関係者を対象とした研修を行いました。栄養クラブの活動が活発に行われており、今年度14の新しいクラブが設立され、合計で23のクラブが活動を行っています。多くの世帯で、家庭菜園で採れた野菜を食べられるようになり、5歳以下の子どもたちの栄養状態が改善しました。

栄養不良の子どもの割合は、2012年6月時点では18%から、2013年6月には15.6%に減少しました。

また、昨年に引き続き、地域の公衆衛生の啓発活動を行った結果、安全な水を利用している世帯数が増え、昨年度の79.5%から82%となりました。また、衛生的なトイレを使用している世帯数も昨年度の48%から55.3%に増加しました。

### 【生徒たちのための衛生的な水】

地域では、川での水汲みや洗濯は子どもたちの仕事です。お風呂の代わりに水浴びをしたり、川に行くことは子どもたちにとって、日常生活の一部でした。しかし、小さな子どもたちが川で溺れてしまうなど、命の危険とも隣合わせでした。そのような状況を改善するため、地域の小学校に給水設備を設置し、川に行かなくても必要が満たされるよう支援しました。3年生の生徒はこのように話してくれました。「水汲みや体を洗うために川へ行かなくてよくなりました。それに、学校の水の方がずっときれいなのです」学校の先生も、言います。「これまで、1～2年生の子どもたちは近くの川まで行って、洗濯をしなければなりませんでした。今では学校で安全な水を使えるようになり、みんな大変喜んでます。それに、衛生的な水なので、皮膚感染症になる子どもも減っています」



きれいな水が学校で使えるようになりました



学校で洗濯をする子どもたち

## 会計報告

### 収支計算書

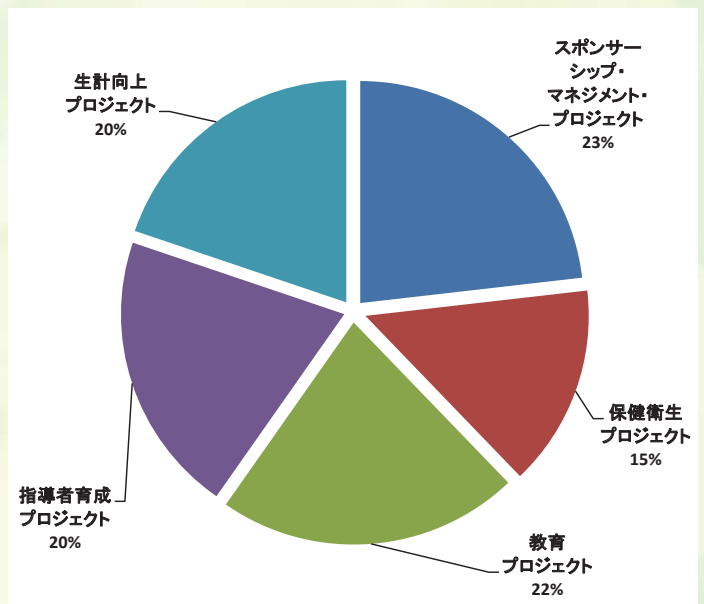
自 2012年10月1日 至 2013年9月30日

プログラム支援額		VNM-190848 (単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ		29,754,497
当期支援額		29,754,497
前期繰越金		1,539,366
プログラム支援額合計		31,293,863

プログラム支出額	
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	7,240,787
保健衛生プロジェクト	4,579,154
教育プロジェクト	6,833,293
指導者育成プロジェクト	6,408,568
生計向上プロジェクト	6,182,425

プログラム支出額合計	31,244,227
次期繰越額	49,636

### 支援分野別内訳(VNM-190848)





# プログラム近況報告

2013年度(2012年10月1日~2013年9月30日)

World Vision  
Vietnam

ベトナム社会主義共和国 トアンザオ地域開発プログラム(VNM-194438)

子どもたちが希望を持てる地域となるための活動が続けられています



誕生日会に参加した子どもたち。年間で、地域の子どもたち  
3,500人以上が参加しました



子どもの日のお祝い会の様子

トアンザオ地域開発プログラム(以下、ADP)では、今年度、子どもたちが地域で大切にされ、地域の一員として期待されていることを実感できるよう、誕生日会、中秋節、子どもの日のお祝い会などの行事を開催しました。これまで、トアンザオの地域に住む少数民族の多くの方は、自分の生まれた日を知らなかったり、その日暮らして余裕もなく、子どもたちの誕生日を祝う習慣もありませんでした。そのような地域の子どものたちにとって、特別なイベントに参加できることは楽しい時を過ごし、自分たちの存在が地域に受け入れられていることや、大切にされていることを実感できる貴重な機会となりました。地域の将来を担う子どもたちが様々な機会を得て、将来に希望を持てるよう、これからも子どもたちを中心にした活動を進めてまいります。

## チャイルド・スポンサーの皆さま

日頃より、チャイルド・スポンサーシップを通して、温かいご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。

2013年度の活動報告として「プログラム近況報告」と、チャイルドの「成長報告」をお届けいたします。昨年度も活動を進めることができましたのは、子どもたちを思い、継続的にご支援をくださる皆さまのおかげと、感謝しております。この1年の地域支援における活動の成果、今後の課題をご確認いただくとともに、チャイルドの成長をともに喜んでいただけますと幸いです。

皆さまのご支援チャイルド、そしてすべての子どもたちが健やかに成長できる地域となることを目指し、活動を続けてまいります。

皆さまの尊いご協力を、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



特定非営利活動法人  
ワールド・ビジョン・ジャパン  
常務理事・事務局長 片山 信彦



## 子どもの栄養改善プロジェクト

5歳以下の子どもたちの栄養状態改善のため、栄養クラブの活動を中心に行いました。現在、17の栄養クラブで活動が行われており、5歳以下の子どもたちの母親である340人が参加をしています。それぞれのクラブは、月に2回集まり、地元の食材を活用した栄養バランスのよい食事の作り方を学んでいます。また、栄養不良の105人の子どもたちの母親に対し、家畜の支援と飼育方法のトレーニングを行いました。今後、家畜を利用し、子どもたちの栄養状態が改善されることが期待されています。

栄養クラブのほかに、村落保健員など地域のネットワークを活用し、子どもたちの保護者に対し、子どもの健康に必要な知識を広めるため、さまざまな啓発活動が行われました。これらの活動の結果、生後6カ月間、母乳育児を受ける乳児が増え、2010年の3%から2013年には30%に増加しました。また、栄養不良の子どもとの割合が減少し、2010年の25%から2013年には20%となりました。今後も地域の保護者と協力し、子どもたちの栄養改善に取り組んでまいります。

### 【支援によって緊急手術を受けたチャイルド】

地域では、子どものけがの予防や緊急時の治療の支援も行われています。支援を受けた地域のある少年、タン君についてご紹介します。

2013年3月、果物を取ろうと木に登っていたタン君は木から落ちて、枝で左目を傷つけてしまいました。彼の両親は大急ぎでタン君を省都の病院へ連れて行き、医師から枝の一部が脳にまで達している、と告げられました。省都の病院では対応ができず、首都ハノイの病院で外科手術を受けることを勧められましたが、貧しい両親にはとても費用が捻出できず、村に帰るしかありませんでした。そして治療の代わりに、村の呪術師に祈祷をしてもらいました。しかし、健康状態は悪化の一途をたどり、両親は泣いて過ごすばかりでした。

そのような時、ワールド・ビジョンのスタッフはタン君の病状を知り、地元政府の関係者と協力して、彼をハノイの病院に連れて行き、手術が行われ、左の側頭部に残っていた2センチの長さの枝を取り除くことができました。

タン君の健康状態は改善しつつあります。しかし彼の右手足は力が入らず、手を思い通りに動かしたり、立ち上がったりができません。頭痛に加え、脊椎や右手足の痛みもあります。それでもタン君は次のように希望を話してくれました。「僕は今生きているんだ。右手足が動かせるようになったら、いっぱい勉強したり、両親のお手伝いをしたいな」

ワールド・ビジョンでは、彼が適切な治療を受けられるよう支援を継続するとともに、地域の関係機関と連携し、事故の危険を未然に防ぐ取り組みも行っています。



子どものケアと栄養について学ぶ栄養クラブに参加する女性たち



栄養不良の子どもを抱える家庭に支援されたアヒル



2013年の世界こどもの日のイベントに参加するタン君と母親



## マネージャーからのごあいさつ

親愛なるスポンサー様

トアンザオ地域からごあいさつ申し上げます。

2011年から始まった活動は、今年度で3年が経過しました。2023年の終了を目標に活動が進められています。各分野でご報告させていただき、栄養状態の改善、就学率の向上、就業機会の向上など、着実な成果が見られます。

活動を行うにあたっては、深い山奥のゆえの難しさがありますが、スポンサーの皆さまを始め、地域の人々や地元政府の協力によって活動が進み、地域の子どもたちに笑顔を届けることができつつあります。

皆さまからのご支援により、地域に着実に変化がもたらされていることをご報告するとともに、ここに改めて、温かいご支援に心より感謝を申し上げます。

ングエン ヴァン ポー (トアンザオADPプログラム・マネージャー)



支援地域の家庭を訪問するングエンマネージャー(左)

## 指導者育成プロジェクト

地域の指導者育成にあたっては、住民が地域の課題を自分自身の問題として受け止め、自分たちの力で取り組みを行うことが重要です。

今年度も郡・コミュン事業運営委員会や村落開発委員会に対し、事業運営についての研修を行いました。研修で学んだ地域のリーダーたちを中心に、地域住民で小グループが構成され、3000人以上の住民が32の小規模プロジェクトに参加しました。具体的には、水へのアクセスを向上するため、井戸の建設が行われました。遠方まで水汲みに行く日常から解放され、住民が事業の成果を実感し、新たな事業に対する期待がふくらんでいます。

そのほか、各家庭の収入の向上のため、貧しい農家の家庭や224人の若者に対し、山羊や牛、鶏などの家畜の飼育についての研修や小屋の建設を支援しました。今後も、地域住民が中心となって地域の課題への取り組みを行います。



地域住民が中心となって井戸の建設が行われました



住民が自ら計画し、建設された井戸



牛の支援を受けた農民。牛の育て方についての研修も受けました



研修で学んだ技術を活かして養鶏に取り組む農民





## 教育プロジェクト

今年度、教育プロジェクトでは、特に幼稚園の質の向上に取り組みました。教育への関心が低い保護者に対し、教育の大切さを伝える効果的な方法について話し合う集會が持たれ、保護者の代表や村落開発委員会のメンバーが参加しました。その結果、地域でより多くの保護者が教育の大切さを認識し、幼稚園に通う子どもたちが昨年の80%から、97%に増加しました。

また、学校設備の整備や参加型学習法を取り入れた授業により、地域の子どもの学習能力が向上し、特に小学5年生を対象とした調査では、ベトナム語や算数の成績が向上しているという結果がみられています。



多くの子どもたちが幼稚園に通えるようになりました



受け身ではなく、自ら考える参加型学習法に子どもたちも楽しんで取り組んでいます



## スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

「スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト」では、チャイルドとの手紙の交流や毎年の成長報告などを通して、支援の成果を実感していただくための活動を行っています。そのため、チャイルドの成長を定期的にモニタリングし、支援事業がチャイルドとその家族、さらに地域の人々の生活をどのように改善しているのか確認を行っています。また、チャイルドの家族や地域の人たちが「子どもを中心とした開発」を理解し、その支援活動の中心を担っていくような啓発活動も行っています。



誕生日会に参加することを子どもたちはとても楽しみにしています

### 会計報告

#### 収支計算書

自 2012年10月1日 至 2013年9月30日

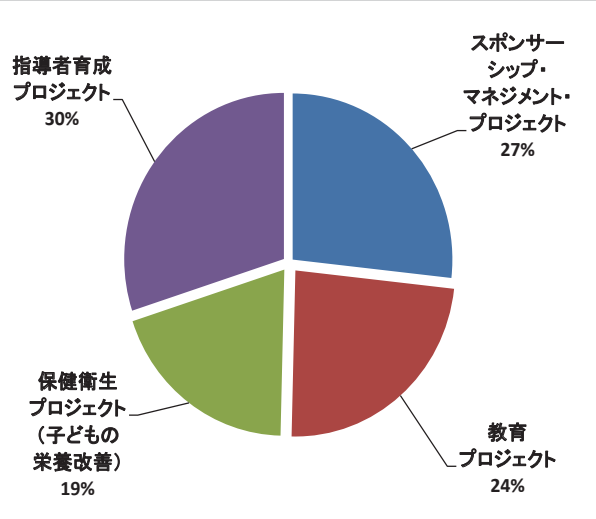
プログラム支援額		VNM-194438 (単位: 円)
チャイルド・スポンサーシップ		27,529,578
当期支援額		27,529,578
前期繰越金		2,036,221
プログラム支援額合計		29,565,799

#### プログラム支出額

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	8,490,961
教育プロジェクト	7,489,979
保健衛生プロジェクト(子どもの栄養改善)	6,213,009
指導者育成プロジェクト	9,526,826

プログラム支出額合計	31,720,775
次期繰越額	-2,154,976

支援分野別内訳( VNM-194438 )





# プログラム近況報告

2013年度(2012年10月1日~2013年9月30日)

ベトナム社会主義共和国 バンエン地域開発プログラム(VNM-175040)

World Vision  
Vietnam

## 地域住民の協力体制が強化されています



ウサギの飼育を学んだ小グループの活動のようす



鶏へのワクチン接種が地元獣医によって行われました

今年度、バンエン地域開発プログラム(以下、ADP)では、支援地域すべての村に村落開発委員会を設置し、住民自らが中心となって今後の活動を進める基盤作りを行いました。また、栄養クラブ、収入向上グループ、子どもクラブなど、様々な分野での新しい小グループも活動を始め、これまで以上に地域住民を中心とした活動が活発に進められています。

小グループのメンバーは、5歳以下の子どもたちの親が優先的に選ばれます。また、今年度からは、自分が所属するグループに関する学びだけでなく、ほかのグループとも相互に協力し合い、学びを深めることができました。例えば、小さな子どもを持つ母親のための栄養クラブのメンバーは、畜産技術を学ぶ小グループの活動に参加し、家畜の飼育技術を身につけることができました。自ら飼育した家畜を使い食事を作ることで、子どもたちの栄養状態に改善がみられています。そのほか、栄養クラブのメンバーは、収入向上グループから貯蓄についての研修を受けたり、教育分野での啓発活動を行っているグループから、教育の重要性について学ぶことができました。各分野のグループ同士が、お互いに学び合うことで、子どもたちが健やかに成長できる地域や家庭を目標に活動が進められています。

2014年度、バンエンADPでは、44の小グループ、37の栄養クラブ、そして47の村落開発委員会と連携を取りつつ活動を進めてまいります。

## チャイルド・スポンサーの皆さま

日頃より、チャイルド・スポンサーシップを通して、温かいご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。

2013年度の活動報告として「プログラム近況報告」と、チャイルドの「成長報告」をお届けいたします。昨年度も活動を進めることができましたのは、子どもたちを思い、継続的にご支援をくださる皆さまのおかげと、感謝しております。この1年の地域支援における活動の成果、今後の課題をご確認いただくとともに、チャイルドの成長をとともに喜んでいただけますと幸いです。

皆さまのご支援チャイルド、そしてすべての子どもたちが健やかに成長できる地域となることを目指し、活動を続けてまいります。

皆さまの尊いご協力を、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



特定非営利活動法人  
ワールド・ビジョン・ジャパン  
常務理事・事務局長 片山信彦



## 指導者育成プロジェクト

子どもたちに優しい地域づくりを行うため、プログラム運営委員会や村落開発委員会のメンバーに対し研修を行い、地域のリーダーたちの能力が向上しました。研修では事業計画を立案し、提案書をどのように作成するかなどについての学びを行い、昨年度は地域で14件の事業が実施されました。例えば、子どもたちが安心して遊べる公園が整備され、700人以上の子どもが利用できるようになりました。

そのほか、村落開発委員会のメンバーは、地域の人々に対し、安全性の高い住宅についての知識を広める活動を推進したり、子どもの権利に関する啓発活動を行い、約640人の地域の人々や子どもたちが参加しました。

また、教育プロジェクトと連携し、150人の子どもたちへ勉強机の支援を行いました。地域の将来を担う子どもたちの能力向上を目的に、村落開発委員会も子どもたちの教育環境の向上に貢献しています。

### 【教育プロジェクトと連携し、机の支援を受けたあるチャイルドの声】

小学校の5年生のハちゃんの両親は、農家として小さな田んぼでの稲作により生計を立てており、地域の中でも特に貧しい家庭です。

お母さんは言います。「先日、参加型学習法について学び、娘の将来にとって教育がいかに重要なのかを知りました。以前は、勉強するスペースがありませんでしたが、購入資金を一部で支援いただき、今では勉強をするための机で椅子に座り集中して勉強をさせることができるようになりました。机は部屋の隅に置くよう勧められ、そのようにしました。おかげで、雑音から逃れ十分な照明のある空間を確保でき、勉強もはかどっているようです」

ハちゃんは、子どもクラブにも参加し、学習教材やおもちゃの作り方も習いました。自分の机を整理したり、飾る方法もクラブ活動で学んだことです。学ぶことの楽しさを知り、学校で優秀な成績をとることができるようになりました。

「私は新しい机と椅子が大好きです。以前は学習計画表もありませんでしたが、自分で学習計画表を作成して机の横に貼り、毎日きちんと勉強できるようになりました。しっかりと勉強を続けて、いつか学校の先生になりたいです」と、笑顔で喜びを伝えてくれました。



地域の公民館の近くに子どもたちが安心して遊べる公園が整備されました



地域住民が作った公園の遊具で遊ぶ子どもたち



机の支援を受けたハちゃん(右)とその友だち

## スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

「スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト」では、チャイルドとの手紙の交流や毎年の成長報告などを通して、支援の成果を実感していただくための活動を行っています。そのため、チャイルドの成長を定期的にモニタリングし、支援事業がチャイルドとその家族、さらに地域の人々の生活をどのように改善しているのか確認を行っています。また、チャイルドの家族や地域の人たちが「子どもを中心とした開発」を理解し、その支援活動の中心を担っていくような啓発活動も行っています。



スポンサーの皆さまにお送りする成長報告の作成をチャイルドたちも楽しんでいます



## プログラム・マネージャーからのごあいさつ

親愛なるスポンサー様

バンエン地域からごあいさつ申し上げます。

2004年から始まった活動は、2018年の終了を目標に活動が進められ、各分野でご報告させていただき通り、確実な成果がみられています。

現在、地域の住民組織の強化にも注力をする事で、将来ワールド・ビジョンの活動終了後も、継続して子どもたちにとってやさしい地域の運営が行われることを目指し、活動を進めてまいります。

ご支援者の皆さまお一人おひとりのお支えにより、地域での活動が支えられておりますことに、心より感謝申し上げます。皆さまからのご支援は、地区の厳しい環境にある子どもたちとその家族を確実に励まし、支える力となっています。感謝を込めて、引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

ングイエン ヴァン タン(バンエンADPマネージャー)



地域の子どもたちとングイエンマネージャー(写真中央)

## 教育プロジェクト

2013年度も子どもたちが十分な教育を受け、健やかに成長できることを目指し活動を進めました。地域では家庭の収入向上のため、親が安心して働けるよう就学前の子どもたちに対する全日保育へのニーズが多くありました。その声に応えるため、幼稚園の教室の建設・改修などの整備を行い、給食を提供できるよう台所の設備を支援しました。設備の充実により、政府の認可を受けた幼稚園もあります。これにより、入園率が大幅に増加し、前年に比べ2歳児で38.4%から57.8%、3歳～5歳児では88%から95%となりました。

子どもクラブでは、特に12歳～15歳の子どもたちに対するライフ・スキル・トレーニングを行い、問題解決法、コミュニケーション・スキル、対人関係、チームワーク、決断の仕方、計画性など生きていくうえで必要な知識・技術について学びました。実際に学びを生かして、地域を良くするために何ができるかを子どもたち同士で話し合い、自分たちの住む地域を自分たちできれいに守るため清掃活動を行いました。また、トレーニングを通じ、子どもたちは、自信を持って自分の意見を伝えられるようになっています。

保護者に対しては、子どもたちの意見に耳を傾け、家庭内での話し合いを行うことの重要性について啓発活動を行いました。学びに参加した父親の一人ドンさんは、こう感想を述べています。「子どもたちと過ごす時間を大切にしようと思います。子どもたちが何を考え、どう感じているのかを理解することで、子どもたちにとって最善の決断をしていくことができると思います」



小学生の子どもたちを対象に、美しい文字の書き方コンテストが行われました



地域の清掃活動をする12歳～15歳の子どもたち



## 保健衛生プロジェクト

今年度は、新たな栄養クラブも活動を始め、合計37のクラブで810人の子どもたちの栄養改善に取り組んでいます。5歳以下の2,537人の栄養状態について調査を行い、栄養不良の子どもが2012年12月の17.8%から、2013年6月には14.7%に減少しました。またメンバーが自発的に活動に参加するようになり、現在20のクラブでは、毎月メンバーが中心となって活動を企画し、参加者への呼びかけも行っています。クラブに参加しているホアンさんは活動について話してくれました。「赤ちゃんが生まれたその時から、栄養に気を付けることが子どもの成長に大切だと学びました。毎月のクラブ活動を通じて娘の栄養状態が大きく改善しました。また、母親同士の交流を持つこともでき、子育ての悩みを共有することもできています」



子どもたちの栄養改善のため、家庭菜園で野菜を育てています



栄養クラブにて栄養価の高い食事の作り方について学ぶ母親たち



建設技術についての職業訓練の様子



有機肥料でトウモロコシを育てる方法について視察する農家の人々

## 生計向上プロジェクト

地域の貧しい家庭の収入向上を目指し、今年度は1,376世帯に対し、作物の種子や家畜の支援を行いました。収穫されたものを適正価格で販売し収入を得ることで、次の作付け時期には自分たちで種や苗を購入できるように研修を行っています。また、春～秋に稲作に利用している土地で、トウモロコシの栽培を冬季に奨励することで、年間を通して農地が活用できるようになりました。また、種子と同時に、微生物酵素の支援も行い、有機肥料の作り方も指導しました。環境に優しい農業により農地を持続的に利用できるほか、付加価値の高い有機栽培の作物を販売することで、収入向上することが期待されています。

地域の家庭の収入向上と地域産業の成長を目指し、ビジネス開発グループのリーダー5人に対しマーケティングの研修を行いました。リーダーたちは44の小グループで合計15回の研修を行い、地域の人々へ知識が広がられています。養豚や養鶏の販売に関する市場の動向について、情報のシェアもしました。

また104人の青少年を対象に農業や建築分野での職業訓練を実施しました。グエンさん(18歳)はこう話します。「建築についての訓練を受けた後、自分の村で仲間たちと小規模な建築を請け負う仕事をしています。おかげで毎月、いくらかの収入を得られるようになりました」

## 会計報告

### 収支計算書

自 2012年 10月1日 至 2013年 9月30日

VNM-175040 (単位:円)	
プログラム支援額	
チャイルド・スポンサーシップ	44,218,966
当期支援額	44,218,966
前期繰越金	4,931,353
プログラム支援額合計	49,150,319

### プログラム支出額

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	9,009,552
保健衛生プロジェクト	9,416,136
指導者育成プロジェクト	11,468,772
生計向上プロジェクト	9,418,136
教育プロジェクト	9,409,583

プログラム支出額合計	48,722,179
次期繰越額	428,140

### 支援分野別内訳( VNM-175040 )

